

第 38 回（2025 年度）キッチンスペシャリスト資格試験

実技試験問題の解説

公益社団法人インテリア産業協会

1. 問題の要旨

テーマは「プレシニア夫婦と一緒に調理しやすいキッチン」で、施主は 60 代前半の仕事を持つ夫婦である。与えられた空間は築 30 年の木造戸建て住宅で、夫婦共有の時間を過ごす LDK のリフォーム計画が課題となる。リタイア後は家で過ごすことが多くなると思われ、キッチンへの要望はシニア夫婦が 2 人で一緒に調理しやすいキッチンである。施主の要望、計画条件および問題に記された具体的な要求事項に対応させた計画を提案する。

2. 「問題 1」計画主旨

夫婦と一緒に調理しやすいことをどのように捉え工夫したか、例えばそれぞれの作業と動線をイメージしてスムーズに動けるための工夫や、すれ違える通路幅などについて配慮したことを、指定された文字数で述べる。

3. 「問題 2」K、D、L の平面図

平面計画は、玄関ホールからのアプローチ、南側のテラス戸、西側の窓を考慮して、K、D、L のゾーニングおよびキッチンの形式を決める。K は、夫婦 2 人での作業がスムーズに行える広さを確保し、調理の流れを考慮して部材や設備機器を配置し、施主の要望を満たすように計画する。指定された機器はその要求に対応するサイズとし、冷凍冷蔵庫はキッチンおよびダイニングからアクセスしやすいように配慮する。

製図は、作成上の留意点に則り、計画条件および問題で指摘されている事項を漏れなく記入する。二重破線部分には壁および建具を設置する。ワークトライアングルの基点位置と長さに注意する。

4. 「問題 3」K の展開図

平面図と整合させて、シンク、コンロ、レンジフード、冷凍冷蔵庫、収納など、使用した機器・部材を配置した全ての面を描き、展開面の不足がないように注意する。天井高、機器・部材寸法、フードとコンロの離隔距離などを書き込み、品番を漏れなく記入する。作成上の留意点を守り、床、壁、天井の線、通り芯およびその符号を表示する。紙面が不足する場合は破断線等を用いて当該部分を表示する。

5. 「問題 4」K の透視図

提案したキッチンの特徴を表現できる方向から見た図を平面図、展開図と対応させて描く。冷凍冷蔵庫、シンク、コンロ、フードなどキッチン全体を表示できるアングルが望ましい。見える部分の床、壁、天井の線、幅木、建具、窓や枠などを省略せずに描く。開口部は平面図で示されている位置および形状に対応させて描く。

6. 所感

与えられた空間の条件を把握し、施主の要望を反映させた計画とする。主旨は、提案内容を正しく伝えられるように具体的に述べる。製図は、施主に提案するプレゼンテーションの図として丁寧に描く。壁など断面線は太線、家具などの稜線は中線、寸法線などは細線として使い分けて描くと見やすくなる。また、白紙の部分がないように解答する。